

アドレスの英語テープおこし+α

英語商品は、日本語のサービスに追いつけ、追い越せとクオリティを高めました。日本語のテープおこしを検討される方も新たな気づきがあるかも。



みなさんは英語のテープおこしをどのように処理されていますか？

ただでさえ苦手な英語なのに、話し言葉をそのまま文字にしてもやはり読みにくい文章のまま。

ちょっと困ったな、という経験はありませんか？

今回はアドレスが得意とする英語関連商品についてのご紹介です。

アドレスの英語テープおこし4つの特長

1 【精度の高さ】…………… ネイティブスピーカーのスタッフが入力から校正の段階まで複数人で担当して磨きをかけます。日本語テープおこし同様、専門用語もよく調べ、文法的な修正も加えてお届けします。

2 【さまざまな仕様】……… 用途に合わせて、文章を整理したり、要約したりと、最適なかたちでお届けできます。以下①～③はそれら仕様的一端のご紹介です。

① アドレス標準仕様(汎用仕様)

日本語でも英語でも、最もご注文が多いのが標準仕様です。ヒアリングや会議から講演、シンポジウムなど、幅広い案件でご依頼いただいています。日本語テープおこしでは、「フィラー(えー、まー)」の削除、音便の修正、言い直しや口癖の割愛を中心に文章を整理しています。

《英語仕様MEMO》

アドレスが承る英語案件の多くが日本で行われた英語での講演や国際シンポジウムであるため、スピーカーの多くは日本人を含むノンネイティブ。ちょっとした文法的なミスが見られることもしばしばあるので、意味が変わらないよう注意しながら、文法エラーを修正しています。

③ 要約仕様

「全体の5割程度」「5000単語(文字)程度」など、お客さまのリクエストに応じて要約したテープおこしデータをご提供するサービスです。アドレスの要約文作成の魅力は、正確性はもちろんのこと、高専門性分野への対応とスピードの速さです。

《英語仕様MEMO》

英語の講演を日本語に翻訳する場合、まずは英語の講演を要約仕様で仕上げることをおすすめしています。翻訳料金は文字量におおよそ比例して高くなりますので、値の張る翻訳費用の抑制には、翻訳元原稿の分量を減らすのが一番の方策です。テープおこしを要約仕様で承ることで翻訳にかかる料金を下げ、ワンストップでスピーディにお届けしています。

② 整文仕様

特に講演録などを作成する場合、「話したままよりも読みやすい文章にしてほしい」というご要望については、整文仕様で承っています。冗長な表現をすっきりと整理したり、文章の構造が明確になるように編集しています。

《英語仕様MEMO》

整文は日本語のテープおこしでもスキルを必要とする作業ですが、アドレスは英語のテープおこしにおいても実現しています。英語を整文するのはアドレスだけ。

オプションサービス オリジナル言語参照

通訳者が介在する国際会議では、英語スピーカーの発言を通訳者の日本語で文字おこしをすることがあります。このとき、通訳者の能力がいかに高くても、元の発言が分かりにくい話しぶりのときには、どうしても言葉が不足してしまいます。日本人などの英語のノンネイティブスピーカーの発言ならば、なおのことです。このサービスでは、元のオリジナル言語の発言を参照して通訳発言を補完します。翻訳ほどの精度・完成度には達しませんが、現場での言葉不足や決定的なエラーをリーズナブルに修正できます。

3 【テープおこしからの拡張】

テープおこしが完成したら、そのまま英文和訳の翻訳まで承ります。また、英文校閲(ネイティブチェック)や英語会議の立会録音、ミニッツライティング(速報)なども得意とするところです。

英文校閲(ネイティブチェック)

《ネイティブチェックの必要性》

契約書などの公的な文書や、外国人向けの英語ホームページ、パンフレットの作成など、正確性や自然な言い回しが重視される文書を作成する場合、ネイティブチェックは欠かせない作業の一つです。アドレスの英語関係商品にはすべてネイティブスピーカーが関わっています。

《アドレスのネイティブチェック》

アドレスでは、チェック作業の際に文法上のミスや不自然な言い回しを修正する「だけ」ではありません!日本人などのノンネイティブの作成した英文には、意味が曖昧で解釈が一筋縄にはいかないこともしばしば。もし英文の趣旨を日本語でお伝えいただいたり、日本語の元原稿をお預かりできるならば、より正確に意図の伝わる英文に修正いたします。「日本語が分かるネイティブ」ならではの、きめ細かいサービスをご提供しています。

翻訳(日本語⇄英語)

《丁寧でクオリティの高い翻訳》

テープおこしの成果物はもちろんのこと、論文、契約書、海外宛のメールの文章の翻訳まで、幅広い文書タイプの翻訳を承っています。ハイレベルのテープおこしで培ったスキルで専門的な内容の翻訳にも対応しています。

《日本語から英語へ》

特にお客様がチェックをしにくい日本語から英語の翻訳では、英文として不自然な表現がないか、分かりにくいところがないかまできっちりネイティブスピーカーがチェックし、質の高い翻訳をご提供しています。

《英語から日本語へ》

英語から日本語への翻訳は、通常、日本人翻訳者が行うことが多いのですが、アドレスでは日本人担当者が翻訳を行った後に、「日本語も分かるネイティブ」が、英文を解釈する際の意味の取り違えがないか等のダブルチェックを行っているため、文章の自然さと訳出の正確性が両立されています。

ミニッツ ライティング

近年特にご依頼が増えているミニッツライティングとは、会議やシンポジウム、講演会等の現場に同席させていただき、短くまとめた要旨を短時間でご提供するサービスです。「複数日にわたる会議で、翌日の会議の打ち合わせのために要旨が必要」「シンポジウム終了後、速報として要旨を発表したい」といったさまざまな用途にご利用いただいています。

4 【リーズナブルな料金・納期】

これだけの丁寧なハイレベルのプロダクトでも、料金や納期についても他社と同レベルのリーズナブルな条件でご提供します。

BILL'S Self-Introduction

Hello! Williamと申します。ぜひBillと呼んでください。早いものでアドレスの制作部に在籍して1年半になります。

来日するまでは、アリゾナ州のフェニックスで働きながらアリゾナ州立大学で日本語を専攻していました。この間、交換留学生として1年間和歌山大学に在籍していたこともあります。本格的に日本に滞在してからは、かれこれもう7年以上経っています。

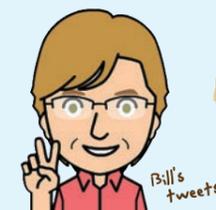
趣味の一つは日本国内の旅行で、現在のところ41都道府県を観光しています。他にも写真撮影や映画、世界の時事問題にも関心があります。

石川県には6年暮らし、金沢の崇高な文化や自然に恵まれた能登半島の美しさを味わい、北陸に住む醍醐味を体感しています。ここでは、たった一日のあいだに日本海で泳いだ後に山に入って小川の音を聞きながら心を癒やすことができます。こんなに素晴らしい土地に巡り合えたのは本当にluckyだったと思います。

密かに誇りに思っているのは、何年かの努力の成果で日本語能力試験1級に受かったことです。私の知識や経験を生かせることがあれば、ぜひご相談ください。

国際会議のミニッツライティングのお仕事でいるいるなところ飛んでいきます。東京、大阪、高知、神戸、淡路島。行くだけで楽しいです。

たぶん日本人とアメリカ人は思考がちょっと違って、面白いことに私も英語を話しているときにはアメリカ人のように考え、日本語を話しているときには日本人のように考えているような気がします。



日本人とアメリカ人の思考の違いは、私がテープおこしで出会う会議の進み方にも表れているように思います。日本人の会議はその場での議事の了承、合意形成に比重があり、米国では意見の発信に比重が置かれているような気がします。

これまで印象に残った仕事は、サンゴ礁保全のための国際会議です。パラオやニューカレドニア、沖縄のきれいな海に想いを馳せていました。